

平成29年度事業報告

青森県担い手育成総合支援協議会は、農業就業人口の減少や農産物の厳しい販売環境においても効率的かつ安定的な農業経営を実践し、本県農業を支える担い手の育成・確保を図るため、耕作放棄地再生利用交付金、収入減少影響緩和対策交付金、さらには農地中間管理事業などを積極的に活用しながら、関係機関・団体が緊密な連携の下、地域の実態に即した担い手の育成に向けた取組を推進した。

1 担い手育成等実績

(1) 認定農業者の育成目標・実績 (単位：経営体)

区 分	平成28年度	平成35年度目標	平成29年度実績
認定農業者	10,004	10,730	9,821

※平成35年度目標は、青森県農地中間管理事業の推進に関する基本方針（平成26年3月）
※各年度3月末時点

(2) 新規就農者の育成・確保目標・実績 (単位：人/年)

区 分	平成28年度	年度目標	平成29年度実績
新規就農者	246	300	277

※年度目標は、青森県農地中間管理事業の推進に関する基本方針（平成26年3月）
※各年度3月末時点

(3) 経営所得安定対策に対応した集落営農の育成目標・実績 (単位：組織)

区 分	平成28年度	平成35年度目標	平成29年度実績
集落営農組織	147	180	150
集落営農法人	56	120	60

※平成35年度目標は、青森県農地中間管理事業の推進に関する基本方針（平成26年3月）
※各年度3月末時点

(4) 荒廃農地の再生利用実績 (単位：h a)

区 分	平成28年	—	平成29年実績
荒廃農地の再生利用面積	465	-	287

※各年度の12月末時点面積

2 担い手育成総合支援協議会会議の開催

(1) 第1回通常総会

- ◎期 日：平成29年8月18日
- ◎場 所：青森県火災共済会館
- ◎議 案
平成28年度事業報告並びに収支決算について
- ◎会員からの情報提供
 - ①収入保険制度について
 - ②担い手への農地の利用集積状況について
 - ③集落営農組織の状況について
 - ④認定農業者の状況について
 - ⑤新規就農の状況について
 - ⑥農地中間管理事業の推進に向けた取組強化について
 - ⑦平成29年度青森県農地中間管理事業推進方策について

(2) 第2回通常総会

- ◎期 日：平成30年3月29日
- ◎場 所：青森県火災共済会館
- ◎議 案
 - ①平成30年度収支補正予算（案）について
 - ②平成30年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ③規約及び規程の一部改正について
- ◎会員からの情報提供
 - ①平成30年度担い手関係新規事業について
 - ②平成30年度機構集積金の目安単価（青森県）について
 - ③平成29年度農地中間管理事業の活用状況について

(3) 第1回幹事会（実務担当者会議）

- ◎期 日：平成29年8月3日
- ◎場 所：公益社団法人あおもり農林業支援センター会議室
- ◎議 案
平成29年度第1回通常総会の案件について

(4) 第2回幹事会（実務担当者会議）

- ◎期 日：平成30年3月23日
- ◎場 所：公益社団法人あおもり農林業支援センター会議室
- ◎議 案
平成29年度第2回通常総会の案件について

(5) 内部監査

- ◎期 日：平成29年7月21日
- ◎場 所：公益社団法人あおもり農林業支援センター会議室
- ◎監査事項
平成28年度業務執行及び会計について

(6) 監査

- ◎期 日：平成29年7月27日
- ◎場 所：公益社団法人あおもり農林業支援センター会議室
- ◎監査事項
平成28年度業務執行及び会計について

3 担い手育成・確保活動

(1) 経営改善・能力向上のための研修

ア 第24回青森県農業簿記講座

- ◎期 日：平成29年11月28日～12月15日（1地区5日間）
- ◎場 所：五所川原市、黒石市、五戸町
- ◎講座内容
 - ① 簿記一巡の手続き及び取引発生から決算まで
 - ② 財産評価の仕方と貸借対照表の作成方法
- ◎参加者数：計125人（五所川原市56人、黒石市44人、五戸町25人）

イ 地区別経営指導研修会

- ◎期 日 平成29年12月13日、14日、15日
- ◎場 所 五所川原市、黒石市、五戸町
- ◎研修内容
 - ① 平成28・29年度税制改正の概要について
 - ② 消費税のあらまし
- ◎参加者数：計168人（五所川原市81人、黒石市55人、五戸町32人）

ウ 経営管理講座「税制セミナー」

- ◎期 日 平成29年12月21日、22日
- ◎場 所 青森市浅虫「海扇閣」
- ◎研修内容
 - ① 平成29年度税制改正の概要について
 - ② マイナンバー制度への対応について
 - ③ 農業経営管理支援事業について
 - ④ 平成29年分消費税確定申告書の記載方法について
- ◎参加者数：78人

エ 記帳義務化に対応した簿記・青色申告普及指導

- ◎期 日 平成29年4月～30年3月
- ◎場 所 県内各市町村
- ◎研修内容
 - ① 単式簿記の記帳方法について
 - ② 青色申告制度の概要について

(2) 担い手交流活動

ア 平成29年度認定農業者組織等交流研究会

- ◎期 日 平成29年6月20日、21日
- ◎場 所 青森市浅虫「椿館」
- ◎研修内容
 - 講 演 「JTBの海外販路支援事業の取り組みについて」
 - 講 師 (株)JTB西日本 営業部 J's Agri事業担当部長 西川太郎氏
- ◎参加者数：54人

イ 第43回青森県農業経営者研究集会

◎期 日 平成30年2月22日、23日

◎場 所 青森市浅虫「海扇閣」

◎研修内容

・作物別分科会 稲作分科会、野菜園芸分科会、りんご果樹分科会、酪農・肉牛分科会・養鶏分科会

・全体集会

講演1 「トランプ政権と日本農業の行方」

講師 宮城大学名誉教授 大泉一貫氏

講演2 「大規模稲作経営と6次産業化への挑戦」

講師 (有)横田農場 代表取締役 横田修一氏

◎参加者数：116人

ウ 第20回全国農業担い手サミットinこちらの広報活動（平成29年10月）

(3) 集落営農ネットワーク協議会の活動支援

ア 第1回集落営農ステップアップ研修会

◎期 日：平成29年6月28日

◎場 所：青森県火災共済会館

◎内 容

・講演「経営の規模拡大に対応した生産・労務管理のポイント」

講師 秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科 准教授 藤井 吉隆 氏

・情報提供「収入保険制度と農業災害補償制度について」

情報提供者 青森県農業共済組合連合会総務部 部長 寺田 伸也 氏

・情報提供「農地中間管理事業について」

情報提供者 青森県構造政策課農地活用促進G 総括主幹 山本 高史 氏

イ 県外先進事例視察研修

◎期 日：平成29年8月29日～30日

◎視 察 先：(農) ファーム夢未来（秋田県八郎潟町）

(農) 平沢ファーム（秋田県秋田市）

(4) 農業経営の法人化の推進活動

ア 農業経営法人化推進連絡会議

◎期 日：平成29年7月4日

◎場 所：青森国際ホテル

◎内 容

・農業経営の法人化の現状等について

・法人化に向けた平成28年度取組実績及び平成29年度取組計画について

・関係機関における法人化推進に係る取組等について

・法人設立支援研修の実施について

イ 法人化推進セミナー

◎期 日：平成30年1月23日

◎場 所：ラ・プラス青い森

◎参加人数：67名

◎内 容

・基調講演

農業経営の発展に向けた「法人化」について～雇用と経営継承を中心に～

講師：オーレンスグループ 代表 福田 直紀 氏（税理士）

・取組事例発表

（株）小野花匠園の取組

講師：（株）小野花匠園 代表取締役 小野 政道 氏

・トークセッション

テーマ「経営発展を目指した農業経営の法人化」

コーディネーター：（株）オーレンスパートナーズ コンサルタント 高石 恭平 氏

パネリスト：（農）出来島みらい集落営農組合 代表理事 成田 金春 氏

J A十和田おいらせ農業総合支援室長 平舘 豊 氏

浪岡農園 浪岡 篤志 氏

アドバイザー：（株）小野花匠園 代表取締役 小野 政道 氏

ウ 法人設立支援講座

◎第1回

期 日：平成29年12月5日

場 所：アピオあおもり

参加人数：33名

テ ー マ：導入講義～経営とは～、法人化の基礎～知識編①・事例編～、

講 師：（株）オーレンスパートナーズ チーフコンサルタント 川本 晃 氏

〃 コンサルタント 高石 恭平 氏

◎第2回

期 日：平成29年12月20日

場 所：青森県総合社会教育センター

参加人数：25名

テ ー マ：演習（法人化シミュレーション）、法人化の基礎～知識編②～

講 師：（株）オーレンス総合経営 税理士 松澤 考純 氏

◎第3回

期 日：平成30年1月9日

場 所：アピオあおもり

参加人数：27名

テ ー マ：演習（法人化シミュレーション）、法人化の基礎～知識編③～

講 師：（株）オーレンス総合経営 税理士 松澤 考純 氏

◎第4回

期 日：平成30年1月25日

場 所：青森県総合社会教育センター

参加人数：23名

テ ー マ：演習（法人化スケジューリング）、応用講座、経営計画

講 師：（株）オーレンス総合経営 チーフコンサルタント 山田 晃裕 氏

（株）オーレンスパートナーズ コンサルタント 高石 恭平 氏

◎第5回

期 日：平成30年2月5日

場 所：青森県総合社会教育センター

参加人数：19名

テ ー マ：応用講座（経営継承）、演習（法人化計画策定）

講 師：(株) オーレンスパートナーズ コンサルタント 高石 恭平 氏

エ 専門家派遣

- ・派遣先：5経営体（個別農家2、集落営農組織1、集落営農法人2）
- ・実施内容：経営の法人化や法人経営の安定化等課題解決に向けた指導、助言
- ・派遣者：高地 豊人 氏（税理士・社会保険労務士）3件
森 剛一 氏（税理士）2件

4 収入減少影響緩和対策交付金にかかる積立金管理業務

経営所得安定対策の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）に係る積立金管理者として、農政局と管理業務委託契約を締結し、加入者の積立金の管理を実施した。

区 分	金額（円）
平成29年4月1日現在残高 ①	946,711,488
積立額 ②	337,858,097
返納額 ③	310,006,873
平成30年3月31日現在残高 ④ = ① + ② - ③	974,562,722

5 耕作放棄地対策業務

耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の交付を通じて、障害物除去や伐根などの復旧、土壌改良及び営農定着活動等、耕作放棄地の再生利用に向けた取組を支援した。

- (1) 地域耕作放棄地対策協議会設立数：36地域協議会
- (2) 事業実施地域協議会数：6地域協議会
- (3) 事業実施協議会への交付額 9,523,125円（交付金）
26,188円（附帯事業費）
- (4) 県協議会の附帯事業費 82,082円

＜本事業による耕作放棄地の再生面積及び交付額＞ (単位：円、a)

協議会名	本年交付額	附帯事業費	合計	再生面積
外ヶ浜町担い手育成総合支援協議会	60,000	0	60,000	12
平内町担い手育成総合支援協議会	415,000	324	415,324	83
弘前市担い手育成総合支援協議会	950,000	1,188	951,188	土壌改良・営農定着のみ
五戸町地域担い手育成総合支援協議会	86,000	864	86,864	13
新郷村地域担い手育成総合支援協議会	30,000	0	30,000	営農定着のみ
鱒ヶ沢地域担い手育成総合支援協議会	7,982,125	20,000	8,002,125	434
県協議会	0	82,082	82,082	
合 計	9,523,125	104,458	9,627,583	542